

ID

氏名

年齢

科名

病棟

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5
メチルプレドニゾロン	500 mg/body	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド	40 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン	25 mg/m ²	→	→	→	→	
シタラビン	2000 mg/m ²					↓

- 【注意】
- * 初回投与時など腫瘍量が多い場合、尿量確保のため適宜補液を追加し、キサンチンオキシダーゼ阻害薬内服を考慮する。
 - * シスプラチンはインフュージョンポンプを使用して4日間持続静注する。遮光すること。
 - * 治療中は、ステロイド点眼を行う。
 - * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解（濃度0.4mg/mL以下の濃度になるように）し30～60分で点滴静注するのが望ましい。
またDEHPフリー点滴セット（フィルターなし）を使用する

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

- Day 1

抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1C 内服
- 生食500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)
 - メチルプレドニゾロン注500mg + 生食 100 mL

点滴静注 30 分
 - ヅラニセトロン注 3mg 1筒

④の 30 分前 静注
 - エトポシド + 5%ブドウ糖液 250mL

点滴静注 60 分
 - シスプラチン + 生食 適量（全量500mL）

24時間持続点滴 (20mL/時間)
 - オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 2 - 4

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| ① 生食500 mLで血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② メチルプレドニゾロン注500mg + 生食 100 mL | 点滴静注 30 分 |
| ③ ヴラニセトロン注 3mg 1筒 | ④の 30 分前 静注 |
| ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 250mL | 点滴静注 60 分 |
| ⑤ シスプラチン + 生食 適量 (全量500mL) | 24時間持続点滴 (20mL/時間) |

Day 2 - 3 アプレピタントカプセル(80 mg)1C 1×朝 内服

Day 2 - 4 オランザピン 5 mg 1錠 1×夕 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 5

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| ① 生食500 mLで血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② メチルプレドニゾロン注500mg + 生食 100 mL | 点滴静注 30 分 |
| ③ ヴラニセトロン注 3mg 1筒 | ④の 30 分前 静注 |
| ④ シタラビン + 生食 350 mL | 点滴静注 120 分 |

* 生食 150 mLをバッグから前もって抜いておく

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	→	→	→	→	
シタラビン 開始時刻					↓
確認					

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	→	→	→	→	
シタラビン 開始時刻					↓
確認					

コース	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
メチルプレドニゾン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	
シスプラチン 開始時刻	→	→	→	→	
シタラビン 開始時刻					↓
確認					